



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年11月2日

上場会社名 エヌアイシ・オートテック株式会社
コード番号 5742 URL <https://www.nic-inc.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 会長兼社長 CEO (氏名) 西川浩司
問合せ先責任者 (役職名) 社外取締役 (氏名) 伴基
四半期報告書提出予定日 2023年11月7日 配当支払開始予定日 2023年12月1日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

上場取引所 東

TEL 03-5530-8066

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	2,393		298		295		447	
2023年3月期第2四半期								

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	82.20	
2023年3月期第2四半期		

(注)2024年3月期第1四半期までは連結業績を開示しておりましたが、当第2四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、2023年3月期第2四半期の経営成績(累計)及び対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
2024年3月期第2四半期	7,020		3,716		52.9
2023年3月期	7,940		4,271		53.8

(参考)自己資本 2024年3月期第2四半期 3,716百万円 2023年3月期 4,271百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		20.00		21.00	41.00
2024年3月期(予想)		20.00		21.00	41.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,100	6.6	142		139		79		14.49

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	5,500,000 株	2023年3月期	5,500,000 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	51,446 株	2023年3月期	51,446 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	5,448,554 株	2023年3月期2Q	5,448,554 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
3. その他	9
受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、2023年8月31日付で当社の子会社であったNIC Autotec(Thailand)Co.,Ltd.の清算が終了したことに伴い、第1四半期累計期間までは連結決算でありましたが、当第2四半期会計期間より非連結決算に移行しました。前第2四半期連結累計期間においては四半期連結財務諸表を作成しておりましたが、上記により当第2四半期累計期間より四半期連結財務諸表を作成していないため、比較分析は行っていません。

混沌とした国際情勢の中で、世界経済の状況も刻々と変わる先の読めない中、当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、先行きの不透明感が続きました。このような状況下において、当社主力製品である「アルファフレームシステム」の一般顧客向け販売は堅調に推移しました。しかし自動化・省人化装置等については、様々な案件に対して積極的に取り組み続けているものの、AI等々、これからの驚異的な技術革新に対応するための半導体関連企業及びFPD製造関連企業の設備投資が下半期から来期以降に本格化する見込みであるため、当第2四半期累計期間においての受注は回復過程にあるという結果となりました。また、提案営業の強化、お客様の利便性を高める新製品の開発を推進するとともに、製造原価低減に向けた生産体制の見直しにも取り組んでいるものの、原材料価格の高止まりによる製造原価への影響は継続しており、利益確保が困難な状況が継続しました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は2,393百万円、営業損失が298百万円、経常損失が295百万円、四半期純損失は繰延税金資産の取り崩しが発生した結果、447百万円となりました。

なお、当社は第1四半期会計期間より、組織体制を見直し、これまでの3部門のうち「アルファフレーム部門」と「装置部門」を統合し「FA部門」とすることといたしました。この事業体制変更により、経営資源の更なる有効活用を推進してまいります。これに伴い、報告セグメントについても「FA部門」と「商事部門」の2部門へ変更しております。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

[FA部門]

FA部門におきましては、「アルファフレームシステム」の一般顧客向けの販売では依然として自動車部品業界の積極的な投資が差し控えられる中であっても、差別化を図った提案営業活動、すなわち当社独自の設計サポートサービス「カクチャTM」及び組立作業の省人化を可能とする「マーキングシステムTM」の積極的営業活動を行い、案件数が伸長しました。また、装置品においては、複数のロボットシステム、生産設備及び洗浄装置等を受注いたしました。しかしながら前述のとおり、半導体関連企業及びFPD製造関連企業の設備投資が下半期から来期以降に本格化するため、新規及び大型構造物案件等々においては受注が一時的に鈍化する状況となりました。

この結果、当部門の売上高は1,766百万円となりました。

[商事部門]

商事部門におきましては、主要顧客各社ともに消耗品や治工具類の需要が安定しており、これらの売上高は堅調に推移しており、これに加え、機械設備関係については複数の大型案件を受注いたしました。

この結果、当部門の売上高は627百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債・純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、前期末と比べ920百万円減少し、7,020百万円となりました。これは主に、現金及び預金が129百万円、土地が92百万円、それぞれ増加した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産が264百万円、電子記録債権が403百万円、関係会社株式が80百万円、繰延税金資産が142百万円、それぞれ減少したことなどによります。

負債は、前期末と比べ364百万円減少し、3,304百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が72百万円、短期借入金が150百万円、長期借入金が98百万円、それぞれ減少したことなどによります。

純資産は、前期末と比べ555百万円減少し、3,716百万円となりました。これは主に、四半期純損失の計上447百万円、配当金の支払い114百万円があったことにより、利益剰余金が562百万円減少したことなどによります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は486百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、516百万円のキャッシュ・インとなりました。これは減価償却費の計上が141百万円あったことや売上債権の減少による資金の増加668百万円があった一方で、税引前四半期純損失が274百万円、仕入債務の減少による資金の減少91百万円があったことなどが主な要因であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、1百万円のキャッシュ・インとなりました。関係会社の整理による収入102百万円があった一方で、有形固定資産の取得による支出が94百万円あったことなどが主な要因であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、388百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは短期借入金の返済による支出が150百万円、長期借入金の返済による支出が98百万円、配当金の支払額が114百万円あったことなどが主な要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにおきましては、混沌とした国際情勢の中で、世界経済の状況も刻々と変わる先の読めない不透明な時代に、各国は戦略物質としての半導体のサプライチェーン構築に躍起となっています。このような状況の中、半導体製造装置周辺技術に強い当社は、今後も安定的な成長が見込まれます。

昨今の技術革新、特に半導体の飛躍的な進化により、AI等々、新たなマーケットが形成され、まさに新しい時代が始まった状況であります。このような状況において、多岐にわたる産業セクターにおいて革新的な自動化・省人化が加速度的に進行しつつあり、今後ますます高度なクリーンルーム及びFA関連機器・装置のニーズが高まることは、当社にとって継続的な追い風となります。

つきましては、今後のより高度なニーズにお応えするため、新経営体制による新組織構築に取り組み、オンリーワンとしての当社の強みを活かし、更なる営業強化を図っております。そして、いつの時代においても当社を取り巻くいかなる厳しい外部環境にも対処することにより、継続的な増収増益を見込んでおります。

以上から、当期の個別業績見通しは、変化の激しい市場動向及び業績動向を現在精査中のため、2023年5月12日に発表いたしました連結業績予想と同等の数値とし、売上高7,100百万円（前期比106.6%）、営業利益142百万円（前期は営業損失142百万円）、経常利益139百万円（前期は経常損失112百万円）、当期純利益79百万円（前期は当期純損失158百万円）を予想しております。

なお、今後の業績動向を踏まえ、通期業績予想の修正が必要と判断された場合は速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	357,182	486,371
受取手形、売掛金及び契約資産	863,003	598,749
電子記録債権	1,324,337	920,730
商品及び製品	220,574	210,694
仕掛品	228,221	207,509
原材料及び貯蔵品	568,764	511,850
その他	71,707	27,619
流動資産合計	3,633,792	2,963,525
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,685,219	3,689,003
減価償却累計額	△1,572,306	△1,634,601
建物（純額）	2,112,913	2,054,402
土地	910,693	1,003,545
その他	1,669,303	1,657,340
減価償却累計額	△948,160	△996,226
その他（純額）	721,142	661,114
有形固定資産合計	3,744,749	3,719,062
無形固定資産		
その他	27,709	23,244
無形固定資産合計	27,709	23,244
投資その他の資産		
その他	534,612	314,968
投資その他の資産合計	534,612	314,968
固定資産合計	4,307,072	4,057,275
資産合計	7,940,864	7,020,800
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	351,015	278,201
電子記録債務	866,629	847,795
短期借入金	150,000	—
1年内返済予定の長期借入金	197,000	197,000
未払法人税等	4,436	1,936
賞与引当金	63,829	64,784
製品保証引当金	845	725
受注損失引当金	—	1,516
その他	245,198	206,792
流動負債合計	1,878,954	1,598,751
固定負債		
長期借入金	1,409,000	1,310,500
退職給付引当金	237,129	233,440
その他	144,097	162,093
固定負債合計	1,790,227	1,706,034
負債合計	3,669,181	3,304,786

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	156,100	156,100
資本剰余金	146,100	146,100
利益剰余金	3,963,872	3,401,571
自己株式	△34,791	△34,791
株主資本合計	4,231,281	3,668,979
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	40,401	47,035
評価・換算差額等合計	40,401	47,035
純資産合計	4,271,682	3,716,014
負債純資産合計	7,940,864	7,020,800

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

	(単位：千円)
	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	2,393,736
売上原価	2,087,528
売上総利益	306,208
販売費及び一般管理費	605,179
営業損失(△)	△298,971
営業外収益	
受取配当金	1,423
仕入割引	1,759
その他	3,747
営業外収益合計	6,930
営業外費用	
支払利息	3,451
その他	53
営業外費用合計	3,505
経常損失(△)	△295,546
特別利益	
関係会社清算益	21,329
特別利益合計	21,329
税引前四半期純損失(△)	△274,217
法人税、住民税及び事業税	1,591
法人税等調整額	172,074
法人税等合計	173,665
四半期純損失(△)	△447,882

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純損失 (△)	△274,217
減価償却費	141,093
賞与引当金の増減額 (△は減少)	954
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△3,689
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△120
受取利息及び受取配当金	△2,166
支払利息	3,451
関係会社清算損益 (△は益)	△21,329
売上債権の増減額 (△は増加)	668,799
棚卸資産の増減額 (△は増加)	87,507
仕入債務の増減額 (△は減少)	△91,647
その他	△35,809
小計	472,827
利息及び配当金の受取額	2,044
利息の支払額	△3,451
法人税等の支払額	△1,596
法人税等の還付額	46,272
営業活動によるキャッシュ・フロー	516,097
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△94,161
無形固定資産の取得による支出	△3,460
投資有価証券の取得による支出	△2,400
関係会社の整理による収入	102,139
その他	△190
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,928
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△150,000
長期借入金の返済による支出	△98,500
配当金の支払額	△114,189
その他	△26,147
財務活動によるキャッシュ・フロー	△388,837
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	129,188
現金及び現金同等物の期首残高	357,182
現金及び現金同等物の四半期末残高	486,371

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

3. その他

受注及び販売の状況

① 受注実績

当第2四半期累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
F A部門	1,653,125	—	589,363	—
商事部門	551,801	—	195,623	—
合計	2,204,927	—	784,986	—

② 販売実績

当第2四半期累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
F A部門	1,766,653	—
商事部門	627,083	—
合計	2,393,736	—

なお、当社は、第2四半期会計期間より非連結決算に移行し、四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期比を記載しておりません。